

小牧IC コンクリートブロック撤去工 (リフトセメント) 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイメンテナンス名古屋(株)	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和3年4月1日	3tダンブ、4tダンブ	ブレーカー、チャッパ、サンダー、発電機、インパクト	保護帽、手袋、安全靴、安全チョッキ、	
改訂日		3tトラック(コンプレッサ積載)	シノ、番線、単管パイプ、クランプ、防護ネット	保護眼鏡、防振手袋、切削防止手袋	
作成者	木野村 元治			親綱、ロリッブ	

必要資格等	運転免許(普通)、運転免許(中型)、職長教育講習			作業人員	5名	その他
備考						

作業工程	No	単位作業とその手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	評価		危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	参考図(別紙可)	
				可能性	重大性				
準備作業		作業前ミーティング						元請施工計画書、施工図、略図、写真等を添付し、作業現場に即し物とすること。	
	1	新規入場者のチェックをする。					職長		
	2	健康状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない。	2	1	3	体調の確認、アルコールチェックを行う。		職長
	3	服装、保安用具の点検をする。							全員
	4	機械・工具等の点検をする。	機械、工具が現場にて稼働しない。	2	1	3	作業前点検を行い、機械、工具の点検をする。		全員
	5	朝礼、KYミーティングを行う。	雑音と現場に入り事象を起こす。	2	1	3	KYミーティングにて危険箇所を確認する。		全員
	6	作業手順の確認をする。	各自の作業が分かっていない、現場で不安全行動を起こす。	3	1	4	個人の作業内容、作業手順を確認する。		全員
移動	7	車両点検、荷姿チェックをする。	作業車の積荷の落下。 スベアタイヤの落下。	1	2	3	車両点検、荷姿チェックを自主とメンテ職員にて行う。 スベアタイヤ脱落防止対策を確実に行う。	全員	
		現場への移動							
	1	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故。	2	3	5	NEXCOの一員であることを自覚して運転する。	運転者	
	2	高速道路に入る前には、プレートを確認しておく。	プレート区域外使用。	1	1	2	・車両点検時、荷姿チェック時に確認しておく。 (自主、メンテ職員)	全員	
	3	規制進入時は保安員の指示で進入する。	一般車の追突、規制内への誤進入。	3	1	4	保安員は適切な誘導を行う。	職長	
	4	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする。	車両が動いて、他のものに接触する。	1	2	3	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めの啓発のプレートを掲げる。	全員	
	5	看板等の設置	設置時に風にあおられて看板等が倒れる。	1	2	3	保安員は、保安業務に徹する。 保安員の指示に従い看板等を設置する。	保安員 全員	
本作業		事前準備							
	1	ダンブトラックの車道側に飛散防止ネットを設置する。	車道側での作業になるので、作業員や設置材が規制の外にはみ出る。 設置時に単管パイプが規制外に倒れる。 クランプや番線が手を挟む、手を切る。	2	3	5	反転路側の広いヤードで設置作業を行う。 単管パイプ設置には2名以上で行い確実に固定する。 保護手袋を着用して、手元に注意して作業する。	作業員 作業員 作業員	
	2	親綱の設置(ガードレール支柱)	親綱をガードレールに結ぶ際に、誤って転落する。	1	1	2	親綱を結ぶ際は、ガードレールの内側で行う。	作業員	
		コンクリートブロック撤去							
	1	高低差が2m以上ある箇所では、親綱、ロリッブを使用						作業員	
	2	飛散養生をしたダンブトラックを横付けし、ブレーカー、チャッパでコンクリートブロックを研る。	飛散物が目に入る。 ブロックが大きな塊で壊れ、倒れる。	3	1	4	安全靴を用いて、足元に注意して作業する。 保護メガネ(ヘルメットシールド)を用いて作業する。 コンクリートブロックは1丁づつ取り取壊す。	作業員 作業員	
	3	ブロック通し鉄筋をサンダーで切断する。	サンダーで手を切る。	2	3	5	切削防止手袋を着用し、手元に注意して作業する。	作業員	
4	取壊しブロックを人力にてダンブ積込む。	コンクリートブロックを足に落とす。	2	2	4	安全靴を用いて、足元に注意して作業する。	作業員		
移動		現場離脱							
	1	清掃							
	2	後片付け	ゴミが目に入る。 作業車の荷の落下する。	1	1	1	保護眼鏡を使用する。 車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく。	全員 全員	
	3	作業車両離脱	通行車両、歩行者との接触する。	2	2	4	ロープがけは必ず車線と反対側から行う。 運転手は誘導員としては動かない。 車両の移動は必ず誘導員の指示に従う。 誘導員は運転手から見える位置に立つ。	全員 全員 運転者 誘導員	

可能性	1:ほとんど起きない(5年に1回程度)	2:たまに起きる(1年に1回程度)	3:かなり起きる(5ヶ月に1回程度)
	頻度率:1	頻度率:2	頻度率:3

重大性	軽微(不労災害)	重大(休業災害)	極めて重大(死亡・障害)
	危険度:1	危険度:2	危険度:3

評価	対策変更の必要なし	対策が必要	即座に対策が必要
	1~2	3~4	5~9

